

(9) I 中学校区

【行政区】	小学校：1,925人	中学校：585人	高等学校：0
玉垣 若松	I a 小学校	789	I 中学校 585
	I b 小学校	748	
	I c 小学校	388	
対象者	① 1歳～6歳未満：1,790人 (未就学児) 0歳児：321人 ② 0歳児の保護者：642人 ・65歳～：4,871人(6,854-1,983人) ・18歳～64歳：19,982人(20,624-642人)		
基礎疾患	インフルエンザ実施数・・・③1,983人		
医療機関 (入院) (診療所)	入院	1 病院(334床)・2 整形外科,リハビリテーション科(2床)	
	産科		
	一般	3 クリニック・4 内科・5 ヒフ科クリニック・ 6 内科クリニック・7 胃腸科・8 医院・9 クリニック・ 10 医院・11 内科・12 内科循環器科・13 内科外科	
	小児		
介護保険 入所施設	〇〇(80床, 介護老人福祉施設)・〇〇(80床, 介護老人福祉施設)		
備考	有料老人ホーム(30床) 保育園児：755人 幼稚園児：192人 (4 内科：重複)		

2. 住民接種対象者数試算表

(試算表1)市に住所を有する者の概算表

鈴鹿市総人口(平成26. 6. 30)	200,805	A	人口統計より
男性	100,298		
女性	100,507		

対象者		概算	試算方法
①医学的ハイリスク者			
内 訳	基礎疾患を有する者	22,226	B 平成25・6年度インフル実績:22,226人 人口11.1%
	入院数(3機関)	1,115	C 医療機関のベッド数:1,469床 (:460床, :379床, :276床, 57 床, 79床, 228床・334床)
	入院数(4機関)	738	D
	介護保険施設(障害含)入所者数	1,715	E 広域連合介護保険課に確認 (介護療養型病床群床除く)
	在宅療養者	18,658	F (B-C-D-E)
	妊婦	1,746	G 母子健康手帳届出数
小計		23,972	H (B+G)
②小児			
(1歳未満)		1,717	I 1歳児未満は接種不可
内 訳	1歳児未満の保護者	3,434	J 1歳児未満の保護者が対象, 保 護者は2名で算定, 1,717×2人
	1歳～就学前	9,437	K 人口統計より ・1～5歳児 ・1～4歳児:7,348人 ・小児科:11医療機関 ・市内高校在籍生徒:6,013人 (高等専門学校数を含む)
	小学生	12,049	
	中学生	6,758	
	高校生相当	6,346	
小計		38,024	O (J+K+L+M+N)
③成人・若年者		115,618	P A-①医学的ハイリスク者-②小児 -④高齢者
④高齢者(65歳以上)		21,474	Q 人口統計-B
合計		200,805	R (H+O+P+G)

(試算表2)訪問接種の対象者(在宅療養者)概算表

対象者	概算	試算方法等
在宅療養者(訪問看護利用者)	469	S 内, 医療保険対象者(57人) 医師が在宅で接種

(試算表3) 施設での集団的接種が想定されるものの概算表

施設の種類の	概算		試算方法等
	施設数	定員	
医療機関			・接種会場候補として、内訳を細分化している。産科は入院数で換算。 ・対象者数＝病床数 ・集団的接種は、各医療機関で行う。
(公立・公的病院)	2	鈴中・鈴鹿 736	
(大学附属病院)	0	0	
(300床以上病院)	2	回生・厚生 713	
(その他病院)	3	産科除く 364	
有床診療所	2	20	
小計	9	1,833	Q
対象者数 (Q×100)		1,833	R
介護保険施設			・集団的接種は協力医療機関等と連携し、各施設で実施する。ただし、接種済証の交付方法は、予診票の切り離し。
指定介護老人福祉施設	8	549	
介護老人保健施設	4	500	
小計	12	1,049	S
老人福祉施設			・集団的接種は協力医療機関等と連携し、各施設で実施する。ただし、接種済証の交付方法は、予診票の切り離し。
養護老人ホーム	1	50	
軽費老人ホーム	3	120	
有料老人ホーム	12	227	
小計	16	397	T
障害者福祉施設			・集団的接種は協力医療機関等と連携し、各施設で実施する。ただし、接種済証の交付方法は、予診票の切り離し。・独) 鈴鹿病院の120床(医療型障害児入所施設、児童福祉法)は医療の病床数に含む
障害児入所施設	1	30	
障害者支援施設	4	200	
小計	5	230	U
合計		3,509	V (R) + (S) + (T) + (U)

(試算表4) 接種対象者の総数

接種の種類	概算		試算方法等
区別集団接種		175,108	(ア) (ウ) - (イ) - ※(特定接種済者)
施設集団接種			(イ)
基礎疾患患者(入院)	入院医療機関	1,833	妊娠届数＝妊婦 ショートステイ中の者は、在宅に換算する。 インフルエンザ実績＋妊婦
基礎疾患患者(通院)	かかりつけ医	18,717	
妊婦	かかりつけ医	1,746	
介護保険施設入所者	入所施設	1,049	
老人福祉施設入所者	入所施設	397	
障害者福祉施設入所	入所施設	230	
小計		23,972	
接種対象者の総数		199,080	(ウ) 市総人口-1歳児未満の小児

※1歳児未満の小児は、接種不可のためカウントせず。

※1歳児未満の保護者については、区別集団接種の対象とする。

※(特定接種済者)の把握は課題となっている。

3. 施設集团的接種の可能性のある施設の資料

施設の種類	概算		試算方法等	
	施設数	定員		
教育施設			本市の住民か否か不明の為、設立者別で試算	
市立				
幼稚園	23	731		
小学校	30	11,772		
中学校	10	6,051		
市立以外				
幼稚園	8	1,858		
小学校	0	0		
中学校	1	336		
高等学校	8	4,877		
養護学校	2	74		
高等専門学校	1	1,056		
小計	83	26,755	a	
保育施設				
保育所	10	1,142		
認証保育所	31	3,372		
認定こども園	0	0		
小計	41	4,514	b	
児童福祉施設等				
助産施設	1	4		
乳児院	0	0		
母子生活支援施設	0	0		
児童養護施設	1	30		〇〇学院
小計	2	34	c	
保護施設				
救護施設	0	0		
小計	0	0	d	
合計	126	31,303	e	(a) + (b) + (c) + (d)

4. 住民接種実施に関する職員配置表

場所		接種設定	対象者	医師
中学校 (生徒数)	小学校	日:日曜日 土:土曜日	児童	

			児童数	医師)診察・接種	
(1)A 326名	Aa小	1(日)	232	2	2
	Ab小	1(土)	137	2	1
	Ac小	1(土)	176	2	2
	Ad小	1(土)	97	2	2
(2)B 550名	Ba小	1(日)	408	2	2
	Bb小	1(日)	378	2	2
	Bc小	1(土)	138	2	1
(3)C 488名	Ca小	1(日)	371	2	2
	Cb小	1(日)	339	2	2
	Cc小	1(日)	279	2	1
(4)D 668名	Da小	1(日)	616	2	2
	Db小	1(日)	441	2	2
	Dc小	1(日)	322	2	2
(5)E 962名	Ea小	1(土)・(日)	645	2+2	2+2
	Eb小	1(土)・(日)	515	2+2	2+2
	Ec小	1(土)・(日)	560	2+2	2+2
(6)F 409名	Fa小	2(土)	67		1
	Fb小	2(土)	91	1	1
	Fc小	2(日)	201	2	1
	Fd小	2(日)	278	2	1
(7)G 1,044名	Ga小	2(土)・(日)	964	2+2	2+2
	Gb小	2(土)	165	2	1
	Gc小	2(土)・(日)	699	2+2	2+2
(8)H 518名	Ha小	2(日)	472	2	2
	Hb小	2(日)	517	2	2
(9)I 585名	Ia小	2(土)・(日)	789	2+2	2+2
	Ib小	2(土)・(日)	748	2+2	2+2
	Ic小	2(日)	388	2	2
(10)J 501名	Ja小	2(日)	408	2	2
	Jb小	2(日)	331	2	2
〇〇特別支援学校			31		

必要人員

業務	人員	担当
管理者	1	行政職
パソコン事務	2(男女各1)	行政職
問診チェック係	2	健康づくり課
予診医師	2	①学校医師+看護師
介助看護師	2	
注射準備	2	看護師(若しくは薬剤師)
接種医師	2	②応援医師+看護師
待機室担当	4	健康づくり課+応援者
会場係	4	行政職
駐車場係	2	行政職

①

医師と看護師のペアで
委託を予定

②

接種医師が調整困難な場合
看護師の接種も検討が必要?

業務の実際(案)

※土曜日・日曜日を設定していきたい根拠・・・複数の医師確保が得やすい。低学年の場合は保護者の同伴が得やすいと想定している。

- ・1日(日曜日)を2分割:1回目(9:00~13:30),2回目(14:30~17:00).....3時間半(210分)で90人の診察と接種を行う。
⇒1回に4名(2チーム)の医師で対応(診察2・接種2),
男女別に対応医師について:中学校単位を1チームとして学校医を中心に対応,不足する医師については医師会と調整させていただきます
⇒ 但し,チームごとに曜日の変更は可能とする。
1回に必要な看護師は,3名となっている。
⇒ 可能であれば担当医師に帯同していただき不足数について洗い出し健康づくり課から手配する。
【不足看護師の委託について・・・健康づくり課の事業を委託していただく看護師(健康診査,健康教室,応急診療所担当等)を予定】
予定期間中(10日間)に2回の土曜日と日曜日を設定している。接種間隔(3週間)の関係から,設定日の調整が必要になる。

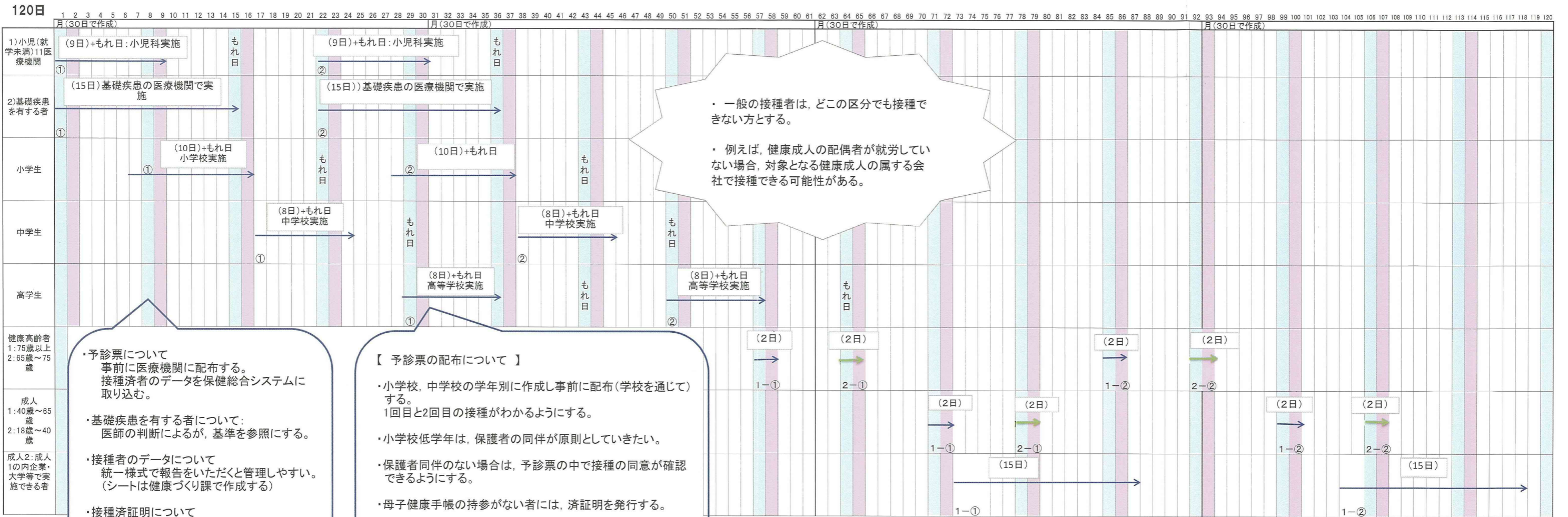
【例:Aa小学校】

児童数・・・371名(男子:175名,女子:187名)(1~3年生:173名,4~6年生:198名)
日曜日を接種日と設定する場合・・・1回目に低学年(173名)を実施:男子予診担当医師1名,女子予診担当医師1名,接種医師2名)
予診担当医師:86名を3時間(180分)で予診・・・60分で28人,接種医師も同様のスケジュール
※上記の1回の実施体制(3時間で≒180名前後)を基準に設定する。

土曜日を接種日と設定する場合・・・土曜日は,1回で対応する。
小規模校については,時間の短縮若しくは医師の減数で対応する。

5. 2回接種工程のイメージ（120日）

1):各医療機関に予約する ⇒ 医療機関で予約できない場合 ①他の医療機関 またはもれ日に ⇒ もれ日(応急診療所で実施,要予約)



診 療 所 開 設 届

年 月 日

三重県知事

あて

開設者 住所

開設者 氏名

印

電話 ()

FAX ()

鈴
鹿
市

次のとおり診療所を開設したので、医療法第8条の規定により届出します。

保健所受付印

1 名称等

ふりかな			
名 称			
開設の場所	〒 電話 ()		
開設年月日	年 月 日		
診療を行おうとする科目			
開設者が現に他の病院又は診療所を開設している場合	施設名 所在地 〒	電話 ()	
開設者が同時に二つ以上の病院又は診療所を開設する場合	施設名 所在地 〒	電話 ()	

2 管理者

住 所	〒 電話 ()		
氏 名		免許証の写し	別添のとおり
臨床研修等	終了年月日： 年 月 日 研修内容：		
現に他の病院（診療所）を管理又は他の病院（診療所）に勤務している場合	名 称	所 在 地	
	診 療 時 間	両施設間の距離、移動手段及び所要時間	

3 診療に従事する医師（歯科医師）の氏名、担当診療科名、診療日及び診療時間

氏 名	常勤、非常勤の別	担当診療科名	診療日	診療時間
	常勤・非常勤			
	常勤・非常勤			
	常勤・非常勤			
	常勤・非常勤			

4 薬剤師が勤務する場合はその氏名

氏名	常勤、非常勤の別	氏名	常勤、非常勤の別
	常勤・非常勤		常勤・非常勤
	常勤・非常勤		常勤・非常勤

5 従業員の定員

医師	歯科医師	薬剤師	看護師	准看護師	助産師	診療放射線技師	診療X線技師	臨床検査技師	衛生検査技師	理学療法士	作業療法士	視能訓練士	管理栄養士	栄養士	歯科衛生士	歯科技工士					計

6 敷地の面積

m ²	平面図及び周囲の見取図	別添のとおり
----------------	-------------	--------

7 建物の構造概要及び用途（平面図を添付すること。）

建物（棟）別	構造概要	用途	建築面積	延べ面積
			m ²	m ²
			m ²	m ²
			m ²	m ²
計			m ²	m ²

8 診察室

診察室名	面積	処置室兼用の場合その部分の面積
科	m ²	m ²
科	m ²	m ²
科	m ²	m ²
科	m ²	m ²
科	m ²	m ²